



「幼稚園5年経過等教員研修会」

9月7日(木)に幼稚園5年経過等教員を対象に、鶯沢幼稚園において研修会を行いました。講師は、鶯沢幼稚園教諭 神崎直人先生でした。

研修会の内容は、神崎先生による5歳児「障害物競技に挑戦しよう」の保育と神崎先生を交えた「カンファレンスシート」に沿ったワークショップでした。運動会に向けて幼児の育てたい姿が分かる保育で、教師のさりげない絶妙な言葉掛けや、幼児に考えさせる場面を作り見守りながら場を捉えて適切に援助する保育を見せていただき、参観者が明日からの保育に役立てたいと思えるものでした。参観者4名とも事前配布された保育指導案を読み込み、5歳児の担任だったこともあり、自分のクラスに置き換え色々な意見が交わされるなど有意義なワークショップになりました。また普段の保育室の環境の工夫なども見せていただき大変参考になりました。鶯沢幼稚園の菅原早苗園長先生、保育を提供いただいた神崎直人先生はじめ鶯沢幼稚園の先生方に感謝申し上げます。

事後の感想には「教師が全て準備をしたり遊び方を決めたりするのではなく、自分たちで準備し、遊ぶコーナーを選択していくことの大切さを感じました」「グループでの活動は、自然とチームの友達に思いを伝え合う姿や互いに頑張りを認め合う姿につながっており、関わりを深めるために大切な環境だったと感じました。教師が常に見守り認め合い、子供たちに安心を与えられる存在であることの手本を見せていただきました」

「子供に選択肢を与えることは、自分で考える、興味をもつ、友達と協力するなど、主体性につながると感じた。子供の中から出た言葉を紹介することは、子供にも受け入れやすいと思った」「選択するということの大切さ。見て学ぶということの効果。新しい知識を得ることができました」「直人先生の保育を見て、子供の思いや意見を1つずつ受け止めていくことの大切さを改めて学びました」などがありました。



「第2回 ICT活用授業づくり研修会」

9月15日(金)に小・中学校教員を対象に「ICT活用授業づくり研修会」を行いました。講師は、宮城教育大学附属小学校教諭 上杉泰貴先生でした。宮野小学校の6年生と一緒に、ICTを効果的に活用しながら理科「生物と環境」の単元末に1時間挿入する形で、食物連鎖について学んだことを活用し、ふるさと伊豆沼・内沼の環境について考える授業をしていただきました。インターネット資料を参照し、画像を切り取って生物同士のつながりを表現し、それをもとに話し合い、より妥当な考えを作り出す展開でした。子供たちは、必要な画像を検索し課題の解決に向けて生物同士の関係をまとめ上げ、表現し合ったものを比較・検討しながら、より良い考えに表現し直す様子が見られました。

講話では、令和2年度から附属小で取り組んでいる「コンピュータサイエンス科における授業の在り方」について分かり易くお話しいただいたり、今年度から文科省研究開発学校の指定を受け、次期学習指導要領、新教科「小学校情報科」に向けて研究を推進しているとの話をいただいたりするなど貴重な学びの場となりました。最新の実証研究報告書もいただきました。ご活用ください。事前準備からご支援いただきました宮野小学校の小松英明校長先生はじめ先生方に感謝申し上げますとともに、子供たちの真剣に課題解決に立ち向かう姿勢から、これまでのICT活用の積み上げの成果を感じました。

事後の感想には「導入で写真を見せたことで児童の興味をぐっと引き寄せ、みんなで一つの課題に向かって進むことができたと感じた」「信頼できる資料を教師側から提示した上で、どの生物に焦点を当てるかは個人に任せることでそれぞれの学習の仕方を見れて面白かった」「サイトに活用させる際の視点の与え方、ポイントの伝え方がとても参考になった」「子供たちの興味・関心を高めるような工夫が多く見られた。特に机間巡視をしている時の声掛けが素晴らしかった」「生成AIを今後取り入れることでの利点と危険、情報モラルなどまだまだ教員が考え、学ばなければならないことが多くあると感じました」「日常の教育活動でのICTの役割の重要性を改めて感じた」などがありました。



「間もなく2学期、学習・研究の秋の充実に向けて」

研究センターでは、2学期に向けて、後期の園内・校内研修の充実や先生方の指導力向上に向けたアドバイザー派遣の申請を受け付けています。

これまでに、幼稚園、小・中学校より申請をいただき、特任教授が園内研究の指導助言に入ったり、校内研究の模擬授業及び研究授業当日の指導助言に入ったり、先生方個々の保育や授業力の向上に向けて支援に入ったりしてきました。支援を受けた園や学校からは「授業づくり(保育)のポイントが具体的に分かった」「授業(保育)へのワクワク感が出てきた」「新たな研究の方向性が見えてきた」などの声をいただいています。

2学期を迎えるにあたり、「学習・研究の秋の充実」に向け、今行っている研究や自身の指導の在り方について、センター特任教授から客観的に指導助言を受け、更なる向上を図ってみませんか。研究や指導の方向性が見えてくることで、園内研究や校内研究は活性化します。また、自身の指導力の向上にもつながっていきます。早速、校長先生に相談してみてください。また、校長先生方からの申請に向けた電話をお待ちしています。